

サークルの方針

近年パソコン・インターネットの発展には目覚ましいものがあります。

ハードウェアは高速、高性能、低価格、インターネットは高速、容易、低料金となりなってきました。そのうえ何よりも、ソフトの多様性、特にフリーソフトの多様性、インターネットを使うことにより容易に入手できるようになりました。

市販のソフトも、高性能でありながら手頃な価格での入手ができます。

一昔前までは、「パソコンは専門的な知識が」とか「難しくて覚えられない」等々聞かれましたが、いまでは誰でも使える「日常生活・活動で、誰でもが簡単に使える道具」化してきました。

そう、一時の電卓とか銀行のATMみたいに身近なものになりつつあります。

もう、パソコン教室不要の時代になりました。

私たち世代(サークル会員想定世代)は、熟年、リタイア世代が主体となることでしょう。となると、やっぱりパソコンは、たのしく、簡単に使いたいものです。

サークルに入られる時に「パソコンで何をしたいのですか？」とお聞きすると、ほとんどのみなさんは「ワード」「エクセル」とのお答えです。

「ワード」「エクセル」を覚えて何をするのでしょう？

これから、仕事中心に使われる方、資格を取られる方には必須でしょうが、私たちに本当に必要でしょうか。それも、パソコン・ソフトの中で難しい部類に入るソフトを、冗談半分に「覚えられっこありませんよ」と、答えたくくなります。

私たちは、「パソコンを覚えること」より「何か(目的)を、パソコンで作れること、そして、たのしめること」ではないでしょうか。

前にも書きましたが、「何か」のためのフリーソフトはいっぱいあります。それも、高機能で簡単に使えるソフトがあります。

それらを使って、「年賀状」「カレンダー」「ポスター」「住所録」「アルバム」「スライドショー」「DVD」「音楽」「お絵かき」「写真の修整」「写真の動画化」(思いつきで書きました) … と「パソコンで○○○を」ではなく「○○○をパソコンで」が簡単にできます。

もちろん、ワードは、書簡を作成、文集・新聞形式等のDTPには適していますし、エクセルは意外と文書作成、ポスター・チラシ作成に適しています。

そう言う私は、ほとんどの文書はエクセルで作成しています(この文書は、ワードで作成)簡単に適しているソフトを使うことが、パソコンが使える一番近道です。

このようなことを考え、「パソコン教室(講座)」ではなく、「パソコンサークル」を発足させました。

サークルの方針	パソコンは、覚えるものではなく使うもの パソコンは、使うのは簡単 パソコンは、たのしく使う いろいろな物(作品)を作る 作品は、積極的に公開する
サークル対象者	パソコンを、使いたい人 サークル会員、その他の人とコミュニケーションをと考える人

そこで、サークルの活動としては次のようにします。

- ・ みんなで教えあう パソコンが使えるようになるのは、聞きたいときに聞ける仲間がいることです（原則、講師制とはしない）
- ・ 皆同じレベル 「電源が入れられて、日本語変換入力」ができれば、後は「やったことがあるかないか」だけです。
 ビギナーだと思っている方も、ベテラン・上級者の方もたのしくやりましょう。そして、知っていることはみなさんに、知らないことはみなさんに気楽に聞きましょう。
- ・ 学習会 必要に応じ、学習会、定例外学習会を開催
- ・ 学習内容一覧表 知っておきたい項目、フリーソフトのダウンロード先等
 一覧表を随時更新し、必要な時に活用できるようにします。
- ・ その他 パソコンは、使っていくうちに快適性が低下していきます。
 その他、設定に関することは分かっている人が対応し、パソコンを快適に使えるようにします。

サークル発足にあたっての思いを記しました。

2009/1/8 太田